

# 古生物紹介

タルボサウルス・バタール (*Tarbosaurus bataar*)

恐竜・竜盤目・獣脚亜目・コエルロサウルス上科・ティラノサウルス科

中生代白亜紀後期 モンゴル 全長9~12m

タルボサウルスは北米のティラノサウルスに骨格が酷似しているため同種であるとも考えられているが、ティラノサウルスに比べ、上腕骨が短いため前肢は非常に小さく、また下アゴは骨の組み合わせがガッチリしており、骨の開いている穴が小さいため、頭骨に受ける衝撃は異なっている。

これは北アメリカのティラノサウルスとアジアのタルボサウルスでは獲物となる動物が異なるためだと考えられている。



## コラム

### カエナグナシダエの新種と多様性の理由

Nicholas R. Longrich, Ken Barnes, Scott Clark, and Larry Millar (2013)

Caenagnathidae from the Upper Campanian Aguja Formation of West Texas, and a Revision of the Caenagnathinae.

Bulletin of the Peabody Museum of Natural History 54(1):23-49

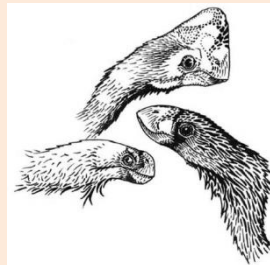
オヴィラプトロサウリアは白亜紀後期に様々に多様化した大きなクチバシを持つ獣脚類です。今回、オヴィラプトロサウリアの仲間であるカエナグナシダエのユタ州で発見された新種について報告されました。Leptorhynchosを新属として提唱していますが、植物にも同様の名の属があるようです。しかし、動物名と植物名は競合しないため、問題ないようです。この話をする時全く違う生物を思い描いているかもしれません。

この論文ではカエナグナシダエが白亜紀後期に北米大陸で幅広く分布し、多様化した2つの理由についても言及されています。一つはダーウィンフィンチに見られるようなボディサイズとクチバシの多様性、もう一つは異なる生息地に異なる種が存在する高い固有性にあるとされています。

それにしても噛みそうな名前の恐竜です。読者の皆さん早口で3回言えますか？カエナグナシダエ・カエナグナシダエ・カエナグナシダエ...



植物の  
Leptorhynchos



## 今後の予定

- ▶8/18~8/26 福井化石発掘調査参加  
福井県立恐竜博物館見学
- ▶9/23 ワークショップin岸和田
- ▶11/2・3 自然史フェスティバル参加(大阪市立自然史博物館)
- ▶11/9・10 ジオカーニバル参加(大阪市立科学館) etc

## 編集後記

今年度初の機関紙の発行となりました。このサークルにも新人が入ってきてくれ、今後の活躍に期待しています。大阪自然史博物館で行われていた特別展の様子が目玉記事。今後もたくさんの活動があるので、乞うご期待！！